

児童の現状・課題

- ・関心のある課題に対しては意欲的に取り組むことができ、自分の考えを他者に伝えようとする力がついてきている。
- ・基礎基本の学力が定着していない児童や、粘り強く課題に取り組む姿勢が身に付いていない児童が多い。

具体的な手だて①〈学習計画の提示〉

- ・単元の初めに学習する内容や学習の計画を示し、児童に＼見通しをもたせることで挑戦しようとする力や粘り強く取り組む力を高める。

学び続ける力を育むための重点目標

- 児童が自ら学習スタイルを選び、自己決定する機会を積み重ねていくことで、個別最適な学びの実現を図る。

具体的な手だて②〈自己決定の場の設定〉

- ・単元計画の際に教員が意図的に多様な選択肢(学び方)を設定し、児童が選択(自己決定)できる場を各教科の授業の中につくる。評価方法の計画や工夫によって確かな学びを確保する。

児童調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分からすすんで計画をたてて学習している。	89.7%	90.7%	
②問題や課題に取り組んでもうまくいかないうちには、うまくいくように違うやり方を試したり、調べたりして粘り強く取り組んでいる。	82.7%	83.7%	

具体的な手だて③(AI 型デジタル教材の活用)

- ・AI 型デジタル教材を授業及び家庭学習で積極的に活用する。児童のつまづきの原因を解析し一人一人に最適化された問題に取り組ませることで、個別最適な学び(指導の個別化)による基礎学力の向上を図る。

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	92.8%	93.8%	
②個別最適な学びを実現するため、事前に個に応じた課題や支援方法を計画している。	71.5%	80.0%	

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・町田市教員用ポータルサイトを活用することで教員の指導力の向上を図る。
- ・校内研究において、学年・ブロックで互いの授業観察を日常的に行い、教員の指導力を向上させる。
- ・定期的に授業改革推進について情報共有を行う機会を設定し、授業改善へと繋げる。

総括(5月)

児童が自分の学習の進捗状況を随時確認できるようにしたり、めあての達成度や苦手分野の確認をしたりすることで、自分で計画を立てて課題に取り組める児童は増えてきた。今後は、単元計画の作成において評価方法の計画や工夫をしたり、教職員が互いの授業を見合う機会を設定して教職員の指導力を高めたりすることで、個別最適な学びの実現し児童の学び続ける力を高めていく。

総括(1月)